

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	154	自治振興費	01	01	一般会計
基本施策	63	住民自治活動を活発化させる	02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			14	14	自治振興費
担当部課名	青山支所 生活環境課		101	101	自治振興経費
作成者氏名	落合博文	連絡先	52-3227	01	自治振興経費
			細々目	01	自治振興経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	地区住民及び地区委員 上津地区住民	伊賀地区自治会連合会青山支部の窓口として地区委員(自治会長)をはじめとする自治会組織と行政の緊密な連携を通じて市政への協力を得る。
本年度事業内容	伊賀地区自治会連合会青山支部の窓口として、地域と行政の連携に努め、円滑な市政と地区運営の支援を行った。また、地区委員の研修会、行政・市議会と自治会の三者懇談会を実施するなど自治の振興・活性化に努めた。	
	平成 年度 終了年度	平成 年度 根拠法令・要綱等 伊賀地区委員会規則 伊賀市集会施設条例

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.7	0.5	0.5
	人件費合計(A)	5,040	3,600	3,600
②支出内訳(千円)	事業費(B)	356	62	0
	需用費	318	54	
	その他	38	8	
	合計(A+B)	5,396	3,662	3,600
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源	5,396	3,662	3,600	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
利用回数(上津基幹集落センター)	回	5					
地区委員数	人	32	32	32			
自治会連合会青山支部役員会等の開催回数	回	25					
地区委員研修会	回	2	2	2			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
自治会加入率(加入世帯数/地区世帯数)	地区世帯を分母とし、自治会加入世帯を分子とした自治会加入率を指標とした。	%	100 目標 (100)	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

地区委員の役割は、市政の円滑な推進を図るうえで極めて重要である。自治基本条例の制定に伴い、住民自治協議会との自治組織の二重構造的な問題も散見できることから、両組織の共存共栄に向けての役割の整理が必要となっている。地区委員の役割の重要性については、論を待たずでもないが、役割及び市政への貢献度に応じた報酬の増額が必要である。

評価	必要性	4	必要性: 市政の円滑な推進に多大の貢献をしている。 有効性: 市政運営にあたって様々な問題解決に力添えをいただいている。 達成度: 自治会組織の運営にあたっては、市費で賅う部分がなく、多大の費用負担を強いている現状であり、さらなる活動をお願いしにくい現状にあることから3となっている。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A